

平成28年6月9日

都道府県土地改良事業団体連合会
関係土地改良区

御中

全国土地改良事業団体連合会
専務理事 中 條 康 朗

インドネシア公共事業省との交流会への参加について(依頼)

かねてより当会の二階会長がインドネシア国との交流に熱心に取り組まれているところですが、昨年11月には「日インドネシア文化経済観光交流団」の団長として、経団連や観光業界などの経済人、林幹雄経済産業大臣ほか17名の国会議員、さらには山梨・愛媛・高知3県の知事など総勢1100名の交流団でインドネシアを訪問されました。

その際、インドネシア国大統領と懇談され、経済や観光だけではなく、農業分野においても日本の土地改良や灌漑分野で技術協力すれば、農産品の品質や生産性が格段に向上するのではないかと認識のもと、両国で技術交流を進めて行くことで考えの一致をみました。

そこで今回、農水省や農工研などの行政関係と、都道府県土連、土地改良区の役職員により調査団を編成し現地を訪問し、意見交換や技術交流の提案等を下記のとおり行なうことになりました。

つきましては、広く参加者を募りたく、貴連合会や土地改良区で交流会に参加することにつきご検討いただければ幸甚に存じます。今回の交流会は、両国の土地改良分野における本格的な交流の実現にむけた取り組みの第一歩と考えております。何とぞ多数のご参加をご期待申し上げます。

記

1. 調査日程(案)

- 9/25(日) インドネシア入国
- 9/26(月) 交流
- 9/27(火)-28(水) 現地調査、夜にインドネシア発
- 9/29(木) 早朝 羽田着

2. 調査団構成

- 農水省：農村振興局次長、海外土地改良技術室長以下 5名程度
(研究部門)農村工学研究所1名
 - 民間：都道府県土地改良事業団体連合会
土地改良区
全国土地改良事業団体連合会
- } 15名程度

3. 予算

- 参加者それぞれの自主的財源を原則とし、15万円程度を予定。

4. その他

- 現在、インドネシア側と調整中であり、JICAからも働きかけがされていることから、詳細は決まり次第追って連絡します。